花-TSUNAGIクラブ　『2023年１月フラワーアレンジ 花育活動（2022年度分）』
（※本年度3月に続き２回目の開催）

◎実施施設 ：社会福祉法人和白青松園

◎日時 １月２８日　(土)　①１１：００～（里親と里子、養護者・関係職員）
②１３：３０～（入所児童・職員・ゲスト）

◎参加者　合計　19名+1名
①　里親・養護者3名　里子3名　職員　1名　　計７名
②　入所児童　８名　職員３名　ボランティアゲスト１名
プレゼント（友達と喧嘩した女児が出てこれずプレゼント１名分　）
計１３名

（※　昨年に続き2回目の参加児童あり。　ボランティアゲストは月一回、アレンジメントなどを施設にボランティアで花を持参している川村林太氏。和白精松園様からの依頼で参加してもらいました。職業、国家公務員）

◎場所 和白精松園内

◎主催 花-TSUNAGI実行委員会

◎協力　福岡県農林水産部園芸振興課、NPO法人次世代のチカラFUKUOKA、福岡リバティLC 、花の力をプロデュース　オフィスメントアー

◎実施内容 ：～福岡県産の花をつかった～
『ハッピーバレンタインフラワーアレンジメント』

◎花卉提供：・JA福岡市　・JAにじ　・JAふくおか八女　・JAみい　・JA糸島
JAふくおか八女（筑後）・JAたがわ

◎花材：・フェアリーグリーン（JAたがわ）　・ガーベラ（ふくおか八女）　・ホワイトレース（ふくおか八女）　・ラナンキュラス（JAみい）　・カンパニュラ（JA糸島）・ストック（JA福岡市）　・カーネーション（JAにじ）
（ユーカリグーニー・他/持ち込み）

◎配布物提供：花あふれる福岡推進協議会

◎花リスト制作：株式会社シップス　（花-TSUNAGI実行委員会）

福岡花市場にて受け取った春の花々　　作品サンプル

【スケジュール】

1/27（金）・9時　福岡花市場にてJA全農ふくれん伊藤彰宏氏より受け取り

花-TSUNAGI実行委員会：北村義弘　山口みどり

1/28（土）

・10時入室準備開始

スタッフ：花-TSUNAGI実行委員会　・北村義弘代表　梅田あさこ　山口みどり

オフィス　メントアー　田中利栄インストラクター

・11時～　1部スタート　　13時30分～　2部スタート

福岡県産マップを使用し、産地や花材の説明

および、花あふれるふくおかの冊子の説明

フラワーベースの使い方

ハサミの持ち方、切り方のレクチャー

講師　山口みどり　田中　利栄

今回、フラワーベースに好きなシールを選んでも

らい、オリジナルのフラワーベースを作ってもらいました。

ガーベラ、カーネーション、ラナンキュラス、フェアリーグリーン（葉物）は各自選んでもらいそれぞれにアレンジメントを開始！

（花選びも楽しそうで、花を触るのが初めての子は、遠巻きに花を観ながら、近づいてきてその姿もいじらしかった）

※ラナンキュラスの葉っぱは蛙の足に似ていることから名付けられたことを話すと、直ぐに名前を覚えてくれた。

※花あふれるふくおかの冊子や花材リストと照らし合わせて、見ている子が今回多かった。

【児童作品の一部】

【集合写真可能な里親・里子（上段）・児童と記念写真】

【感想】

和白精松園では、昨年の３月に続き2度目の春の花を用いたアレジメン体験となった。2度目参加希望の児童の中で友達と喧嘩し部屋から出てこれなかった女児に、楽し

みにしていたと聞いていたので、アレンジメントを作り、先生を介して渡してもらった。後日、職員の先生から「もう一度入れ替えたりし楽しんでいた」と聞いて安心した。
季節柄もあり1部の親子がインフルエンザで急遽、キャンセルも出たが飛び入り参加の男子児童もいて楽しそうにアレンジしていた。

　今回、川村林太さんという刑務官の仕事をしている方が参加されました。川村さんはボランティアでアレンジメントや自身が作ったリースなどを、月に一度と届けておられます。男子児童に寄り添ってくれて、一緒に講師としてレクチャーしてくれました。児童の中から「男の人も花を入れたりして良いんですね？」と、職員へ質問があったそうです。男子児童にとっては喜ばしい出来事だったようで、私たちにとっても学ぶことがありました。
　川村さんいわく、「子供のころの環境や影響が後々の人格形成を作って行きます。　情操教育の一つとして、子どものころに感性を育てる意味でも、美しいものにふれて欲しいと。」　まさにその通りだと思います。花育活動は目に見えた結果が、即でてくるものではないのですが、現場にいると花にふれている子どもたちのイキイキとした、輝く笑顔にふれると大切な教育の一つだと思います。
　児童養護施設では自分の親と暮らせない子ども達。大人を避ける子どももいる中「また来てね！」のコトバを聴き続けることの大切さも感じ、今後も子どもたちとのふれあいを深めていけたらと、思います。

花-TSUNAGI実行委員会プロデューサー
オフィス　メントアー　代表
山口みどり